

文部科学省資料

平成28年3月9日

文教施設におけるコンセッション方式の目標設定についての提案

- コンセッション方式は、地方では前例もなく、調査においても知識やノウハウが乏しいことが判明。
- こうした中、地方への普及促進へ向け、モデルケースとなるような案件形成を行うためには、まずは、テラーメイドの支援が必要。
- ついては、文教施設(スポーツ施設、社会教育施設、文化施設)として3件の案件形成※1を目指すことを目標※2として進めたい。

※1 先行の重点4分野と同じく、地方公共団体の取組であることに鑑み、実際の契約締結に至らずとも、具体的な検討を行っているものも含むこととする。

※2 目標期間(先行の重点4分野では3年間)の設定に当たっては、期間が短いと、指定管理者制度を既に導入している施設の場合、収支バランス等の観点からコンセッション方式の実現可能性が高いとしても、契約更新時期とタイミングが合わないことがあり得ることに留意が必要。

【目標達成に向けたイメージ】

